

環境保全・自然保護分野公募事業 助成団体一覧表

(注) 1 区分欄の(記号・数字等)は、次の区分を示す。

①地球温暖化防止の推進に関する事業

②循環型社会の構築に関する事業

③自然環境の保全、又は親しむ活動に関する事業

④環境配慮意識の醸成や環境配慮行動の促進に関する事業

| 番号 | 団体名 | 代表者 | 事業名 | 区分 | 事業概要 |
|----|----------------------------|-------|--|----|---|
| 1 | 愛蝶会 | 窪田 聖一 | 愛媛県におけるクワガタムシの分布調査 | ③ | クワガタムシの分布調査を行い、県内の状況を把握するとともに、生物多様性の保全と環境保全意識の高揚を図る。 |
| 2 | 天の川掃除人 | 二宮 園美 | 未来の人たちへ大切な川の自然を残すために | ③ | 重信川流域の清掃活動を行なうことで、生態系の保全及び情報発信による意識啓発を行う。 |
| 3 | 一般社団法人西条青年会議所 | 佐々木 充 | さいじょう自然教室 | ③ | 西条市内の小学生を対象に持続可能な自然環境について考える素地を養うことを目的とし、加茂川及び石鎚山系の自然環境に関する学習事業を展開する。 |
| 4 | 宇和コウノトリ保存会 | 楠 健明 | 安全なねぐらを守る監視カメラ移設事業 | ③ | 西予市宇和に飛来するコウノトリ等の保護・観察も目的としたカメラを設置しており、今回、より正確かつ効率的な監視を行うためカメラの移設を行う。 |
| 5 | 宇和島市立城南中学校生徒会 | 今井 純 | 沖の島自然保護活動 | ④ | ハマユウの移植、島の清掃、漂着ゴミの調査、また活動の様子をパネルにして展示会を行うことで、島の環境保全と市民への意識啓発を行う。 |
| 6 | エコサイエンスクラブ | 濱口 英之 | えひめの海と山を守る暮らし方を学ぼう (海洋プラスチックと木質バイオマス燃料を学ぶ環境教室) | ② | マイクロプラスチックの観察や木質バイオマス発電等をテーマとした環境学習会を県内小中学校や環境イベントで実施する。 |
| 7 | NPO団体松山北高校興居島ボランティアチーム | 越智 隼人 | 愛顔グローバル愛Landまつやま環境保全プロジェクト | ③ | 地域住民や行政、民間企業等と連携して興居島等の海岸清掃活動を行うとともに、環境保全イベント等を通じて環境保全意識の啓発を図る。 |
| 8 | 愛媛県資源循環優良事業者連絡協議会 (Re-えひめ) | 丸橋 温 | えひめの3R推進事業～体験を通した3Rの定着に向けて～ | ② | 環境学習会を実施するほか、環境イベントの実施や清掃活動の実施、3R関連の情報発信により、循環型社会形成の機運を醸成する。 |
| 9 | 愛媛県立今治東中等教育学校ボランティアチーム | 渡邊 弘安 | 桜井海岸 (唐子浜～志島ヶ原) 白砂青松保存プロジェクト | ④ | 清掃をはじめ、廃棄松葉の資源化を行うことで、桜井海岸の景観の維持および地域住民へのSDGsの意識啓発をおこなう。 |
| 10 | 愛媛大学附属高等学校理科部 | 吉村 直道 | stop!地域絶滅～試験的マツカサガイ再導入による自然再生地の評価～ | ③ | 絶滅が危惧されているマツカサガイの稚貝が育たない原因を追究するとともに、県民の生物・環境保全に関する意識向上を目的とし、これらの取組みについて県民に対し広く啓発する。 |
| 11 | 愛媛大学李研究室ボランティアチーム | 李 賢映 | 海洋プラスチック減らし隊～つくって・つかって考える!プラスチックフリーな暮らし～ | ④ | 地域の小学生との海岸でのごみ拾いや海洋プラスチックごみ工作、学園祭での展示等、プラスチックフリーな社会構築の達成に寄与する事業を展開する。 |

| 番号 | 団体名 | 代表者 | 事業名 | 区分 | 事業概要 |
|----|-------------------------------|--------|--|----|--|
| 12 | くぼの里山保存会 | 橘 秀敏 | 『シコクカウソウ・マガイワ』の自生地保全と在来種に優しい取り組みを進めるワークショップ事業 | ④ | シコクカウソウ自生地の定着と拡大を行い、窪野の自然の魅力発信と耕作困難地の活用に繋げる。 |
| 13 | 蔵小校区ふるさと振興会 | 山下 昌和 | 地域でつくるコスモス畑 | ③ | 休耕地を活用したコスモス事業を展開し、豊かな自然環境の保全と景観美化を図る。 |
| 14 | 里山共生デザイン研究会 | 懸田 剛 | 休耕地を活用した湿地生態系の保全管理と活用 | ④ | 休耕地を湿地ビオトープ・無農薬水田に再利用した湿地環境の保全管理及び生物観察会を実施することで、生態系保全と中山間地の地域活性・関係人口の増加を図る。 |
| 15 | さんきら自然塾 | 水本 孝志 | 西伊予の〈大型動物類〉保全プロジェクト2024 | ③ | 減少傾向の大型動物類に関する図鑑を制作し、学校等に配布するほか、観察会や環境講座を開催する。 |
| 16 | SLOWS | 越智 由佳 | 豊かな海をまもりたいー海洋プラスチック問題から学ぼうー | ④ | 海洋プラスチックごみの先進地である対馬の視察や海岸清掃、研究発表、講演、ワークショップを通して海洋汚染問題等について周知・啓発を行う。 |
| 17 | 東予科学遊びを楽しむ会 | 戸井 和彦 | 環境問題に中心となって取り組む子どもの育成 | ④ | 子ども、保護者、小中高生、大学生、大人の指導者等の同世代、異世代交流を充実させた絵本の読み聞かせや体験教室、宿泊体験学習等を実施し、環境保全意識の高揚を図る。 |
| 18 | 特定非営利活動法人内子未来づくりネットワーク | 小野 里枝美 | うちこの自然環境を体感し、さらに学習を深めよう | ③ | 内子町内にて地元の小中学校等を対象にテーマに応じた環境学習・自然体験観察会を行う。 |
| 19 | 特定非営利活動法人愛媛生態系保全管理 | 山本 栄治 | 谷と尾根の自然林再生2024 | ③ | ツクシシャクナゲをはじめとした自然林の再生を目的とした育林、希少植物の保護増殖、野生動物の食害調査と防除対策を行うなどの環境整備を行う。 |
| 20 | 特定非営利活動法人にいはまグローバルネットワーク | 小松 柊成 | プラリサイクル（プラスチックスマート）学習会の開催 | ① | プラリサイクル活用、海洋プラの削減、生活プラの再利用等をテーマとした、専門家による講演、参加者とのトークセッション、関係者取り組み事例の発表など環境学習会を3回開催する。 |
| 21 | 特定非営利活動法人うちぬき21プロジェクト 千町棚田チーム | 成高 久豊 | 千町棚田の自然環境保全と棚田に親しむプロジェクト | ③ | 棚田の役割や環境保全の重要性、また環境保全が災害対策にも繋がることを小中高生への環境学習会等のイベントを通して啓発するほか、放置竹林及び遊歩道・石垣の整備を行う。 |
| 22 | 特定非営利活動法人愛媛昆虫類調査研究機構 | 元永 学 | 隧道マレーゼ観察法による稀少昆虫の調査研究事業 | ③ | 隧道マレーゼ観察法により観察が甚だ困難であった稀少昆虫採集し、後の愛媛県レッドリストの再評価の重要な資料となりえる報告書を作成する。 |
| 23 | 特定非営利活動法人しまなみアートファーム | 吉田 佳代 | しまなみアートファーム“世界を見てみよう”大三島とアフリカの獣害編 ー大三島に生息するイノシシ生態調査報告とアフリカのゾウの獣害から動物と人間の共生を考える会 | ③ | 大三島の野生イノシシの管理と獣害対策に関する科学的知見の共有及び島民との意見交換を設けることで、しまなみエリア全体の環境保全・自然保護を推進することを目的としたシンポジウムを開催する。 |

| 番号 | 団体名 | 代表者 | 事業名 | 区分 | 事業概要 |
|----|----------------------|-------|------------------------------|----|---|
| 24 | 特定非営利活動法人 森からつづく道 | 松井 宏光 | 訪ねたくなる水源の森・里 づくり（松山市日浦地区） | ③ | 松山市日浦地区の地元小中学校とヒメユリ 保全活動や、ミツマタ等の植林、自然観察 会を展開する等、同地区の自然環境が多面 的機能の維持・回復を目指す。 |
| 25 | 松山聖陵高等学校 科学研究部 | 八木 俊博 | 身近な素材を活用して工作 しよう | ④ | 小中学生向けの工作や科学実験を通じて環 境問題への意識啓発を行う。 |
| 26 | やませみ22 | 瀧野 隆志 | ブッポウソウ繁殖場所を限 定での公表に向けて | ③ | 愛媛県レッドデータブックに絶滅危惧類として 記載されているブッポウソウの個体数回復を試 みるため巣箱の移設及び写真展を開催する。 |
| 27 | ゆるサポ愛媛 | 處 淳子 | 大量消費からおもいやり消 費への転換へ | ④ | 西条市内の学生向けに県内の大学と連携 し、エシカル消費（思いやり消費）の講義 及び大学のゼミ生と交流することで、環境 配慮意識の醸成を図る。 |
| 計 | | | 27件 | | |